

# ハンセン病資料館の見学と春の全生園を散策

～入居者が植えた桜を訪ねて～



全生園は、河瀬直美監督の映画『あん』や、近代文学の傑作と名高い北條民雄の小説『いのちの初夜』の舞台にもなっています。

国立ハンセン病資料館は、東村山市の全生園（ハンセン病患者の隔離施設だった）の一角にあり、ハンセン病や長く隔離されてきた患者さんたちの歴史を伝える貴重な場所となっています。ガイダンスと語り部の方のビデオ鑑賞後、案内人と全生園を散策します。お昼は園内の食堂の看板メニュー「釜飯」、その後資料館で自由見学のあと解散です【定員 15 名】

## 3月25日(水)

### 【集合場所】

① 9時30分 JR武蔵野線「新秋津」駅 改札出たところ ※資料館まで徒歩約20分

② 9時50分 ハンセン病資料館前 ①か②のどちらかに集合してください

参加費：2,800円 ※昼食代、保険料を含みます

持ち物：飲み物、帽子、歩きやすい服装でご参加ください。

お申し込みは、NPO法人 大人の学校まで

電話/fax：048-866-9466

メール：otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp

